

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030192

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	臨港道路排水管路清掃事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町		関係課	10 建設水道課		
事業指標	排水管路清掃			#N/A		
事業目標	68m		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加			関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	臨港道路排水管路の定期的な清掃により、排水管路閉塞の解消を図り、雨水等の道路排水流量の確保を図る。 元稲府漁港臨港道路清掃 L=68m		【平成25年度繰越事業】 臨港道路排水整備工事 元稲府漁港臨港道路 ・排水管路撤去・設置 L=60m ・排水管路敷設替え L=8m			元稲府漁港臨港道路排水管路 清掃 L=68m	
	事業費(千円)	3,770	0	3,640	0	0	130
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,770		3,640			130	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,770	0	3,640	0	0	130
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	3,770		3,640			130	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		元稲府漁港臨港道路 ・排水管路撤去・設置 L=60m ・排水管路敷設替え L=8m	元稲府漁港臨港道路 ・排水管路撤去・設置 L=60m ・排水管路敷設替え L=8m	元稲府漁港臨港道路 ・排水管路撤去・設置 L=60m ・排水管路敷設替え L=8m	元稲府漁港臨港道路 ・排水管路撤去・設置 L=60m ・排水管路敷設替え L=8m	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値		68m			68m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	100%	#DIV/0!	#DIV/0!	100%
	全体達成率	0%	97%	97%	97%	100%	
	事業進捗状況						

事業名	臨港道路排水管路清掃事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者、水産加工業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	排水管路清掃	
【抱える課題やニーズは】	元稲府漁港区域内臨港道路の排水管路は、污泥蓄積により閉塞するおそれがあることから、定期的に清掃する必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	元稲府漁港の臨港道路排水管路の清掃	① 排水管路清掃	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	排水流量確保による道路の安全対策及び周辺環境の保全が図られる。		目標値	68 m
			実績値	85 m
			達成度	125.0 %
		②	目標年度	年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	清掃委託業務の発注	見積徴取により、清掃委託業務を発注した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	臨港道路の管理者は北海道であるが、町道排水が接続されていることに加え、周辺環境の悪化が危惧されることから、町において定期的に清掃する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	清掃作業により、排水管路の閉塞が解消された。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	町内の他の排水管路清掃事業と、同時期に行ったことによりコスト削減を行うことが出来た。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	公共性のある道路の保全であるため、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり排水管路の清掃が行われ、管路内の閉塞が解消された。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
臨港道路排水の閉塞は、接続される町道排水にも影響があることから定期的な清掃を行う必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止